



# ちば市議会だより

■発行／千葉市議会 ■編集／千葉市議会広報委員会 ■住所／〒260-8722 千葉市中央区千葉港1-1  
 ■電話／043-245-5472 ■FAX／043-245-5565 ■ホームページ／<http://www.city.chiba.jp/shigikai/top.html>

平成25年 11月15日 No.82  
 (2013年)

## 5分科会制で初審査 ～決算審査方法見直しました～

今定例会から、5つの分科会に分かれて決算の審査を行いました。  
 これまで、2つの分科会に分かれて審査していましたが、5分科会制になったことで、  
 より詳しく、専門的に審査することが可能となりました。また、一般の方の傍聴もできる  
 ようになりました。



↑総務分科会



↓環境経済分科会



↑保健消防分科会



↓教育未来分科会



↑都市建設分科会

## 第3回定例会の あらまし 9月6日～ 10月3日

市長提出議案37件、  
 議員提出議案3件(うち意見書2件)  
 を審議し、条例・補正予算などの議  
 案に対する討論(共産党、自民党、民  
 主党)と決算議案に対する討論(未  
 来創造、公明党、市民ネット、共産党、  
 民主党、自民党)が行われ、千葉市一般会計補正予算など13件については、  
 賛成多数により、平成25年度千葉市国民健康保険事業特別会計補正予算など26件については、全会一致により、原案どおり可決・認定・同意しました。

一方、議員提出の千葉市被保護者等住居・生活サービス提供事業の業務  
 の適正化等に関する条例制定検討委員会設置条例の制定については、賛成少数  
 により否決しました。

第3回定例会の主な日程		
9月6日	本会議	議案・発議上程、提案理由説明
9月11日	本会議	議案質疑、常任委員会付託
9月12日～9月13日	各常任委員会	議案の審査
9月17日～9月19日	本会議	代表質疑
9月19日	本会議	委員長報告、討論、採決
9月19日	決算審査特別委員会	総括説明
9月20日～9月26日	決算審査特別委員会分科会	
9月26日～10月2日	本会議	一般質問
10月2日	決算審査特別委員会	分科会報告、意見表明、採決
10月3日	本会議	委員長報告、討論、採決

## 平成24年度 岁入 歳出決算を認定

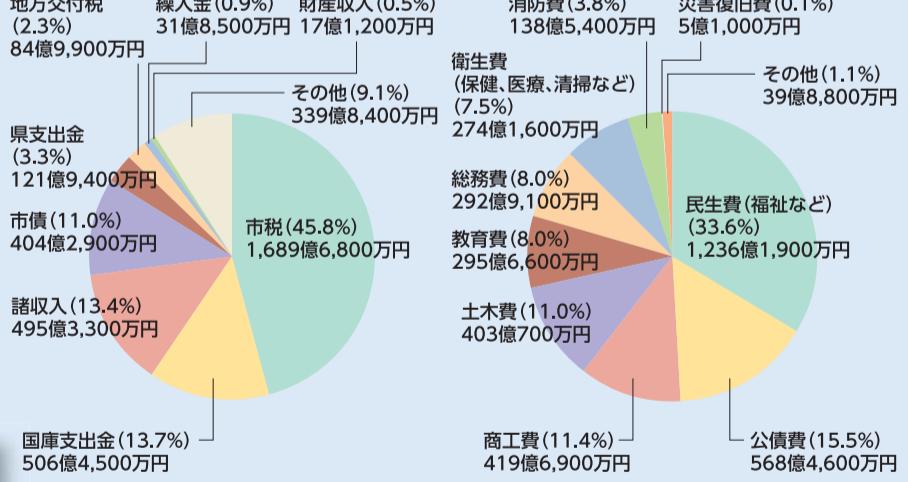
平成24年度一般会計および  
 特別会計などの決算議案につい  
 ては、本会議で8会派の代表が  
 質疑を行ったほか、決算審査特  
 別委員会を設置し、詳細に審査

を行いました。その結果、各会計決算を原案どおり認定しました。  
 決算審査特別委員会では、市長への要望をとりまとめて提出し、  
 各会派が決算に対する意見表明を行いました。  
 (詳しい内容は、6・7面に掲載しています。)

## 平成24年度 一般会計決算の概要

歳入 3,691億4,900万円

歳出 3,673億6,600万円



実質収支は、12億1,200万円の黒字であるものの、退職手当債の発行に加え、  
 市債管理基金の償還を一部取りやめるなど、大変厳しい収支状況となりました。

## 前年度からの増減 ( ) 内は主な増減の内容

### 歳 入

- 市 税…14億4,700万円減 [0.8% ↓] (評価替えの影響による固定資産税の減)
- 国庫支出金…15億7,300万円減 [3.0% ↓] (制度改正に伴う児童手当・子ども手当収入の減)
- 諸 収 入…25億7,100万円増 [5.5% ↑] (ちば消防共同指令センター整備に伴う他団体からの負担金収入の増)
- 市 債…11億6,900万円増 [3.0% ↑] (退職手当債の発行による増)
- 県 支 出 金…13億7,600万円増 [12.7% ↑] (私立保育園の整備拡充に伴う安心こども基金収入の増)
- 地方交付税…61億700万円減 [41.8% ↓] (東日本大震災に係る震災復興特別交付税の減)
- 繰 入 金…27億5,200万円増 [635.5% ↑] (市債管理基金からの借入による増)

### 歳 出

- 民 生 費…18億4,200万円増 [1.5% ↑] (被保護者数の増加に伴う生活保護費の増)
- 商 工 費…2億7,400万円増 [0.7% ↑] (中小企業資金融資預託貸付金の増)
- 土 木 費…11億2,900万円増 [2.9% ↑] (千葉駅西口地区再開発ビル整備に伴う増)
- 教 育 費…6億円増 [2.1% ↑] (小・中学校校舎等改修事業費の増)
- 総 務 費…4億8,800万円増 [1.7% ↑] (スポーツ施設管理運営費の教育費からの移管による増)
- 消 防 費…22億8,900万円増 [19.8% ↑] (ちば消防共同指令センターの整備に伴う増)
- 災 害 復 旧 費…37億7,200万円減 [88.1% ↓] (東日本大震災に係る復旧事業の減)

# 市長に聞く

—代表質疑から—

9月17日（自由民主党千葉市議会議員団・民主党千葉市議会議員団）、18日（公明党千葉市議会議員団・日本共産党千葉市議会議員団・未来創造ちば）、19日（市民ネットワーク・みんなの党千葉市議団・日本維新の会千葉市議団）の3日間にわたり、8会派の代表が平成24年度決算議案などについて質疑を行いました。

詳しくは市議会ホームページの議会中継（録画放映）をご覧ください。  
[http://gikaimovie.city.chiba.jp/rokuga\\_menu.html](http://gikaimovie.city.chiba.jp/rokuga_menu.html)

## 自由民主党千葉市議会議員団



### 平成24年度決算の評価と今後の見通しは

**問**

平成24年度決算の評価と平成25年度の収支見通しは。

**答**

これまでの建設事業債の発行抑制により、平成24年度末の全会計の市債残高は2年連続100億円以上減少し、実質公債費比率<sup>\*1</sup>や将来負担比率<sup>\*2</sup>も引き続き改善するなど、財政健全化への取り組みの効果が徐々に表れた決算だと考える。しかし、毎年の収支状況は厳しく、健全化判断比率も依然として政令市ワーストの見込みであることを踏まえ、引き続き「財政健全化プラン」に掲げた項目を推進するとともに、累積赤字が多額となっている国民健康保険事業特別会計について、早期に健全化を図る必要がある。

平成25年度収支は、歳入面では、市税収入が増加する見込みである一方、歳出面では、生活保護費や障害者介護給付費などの増加が見込まれることから、厳しい状況である。

### 防災対策における共助の取り組みは

**問**

地域住民主体で避難所を開設・運営する体制を整えるための「避難所運

営委員会」の設立が進められているが、その状況や設立の進め方及び構成メンバーは。

また、災害時に自力で迅速な避難行動をとることが困難な人への避難支援の強化が急務であり、自力避難が困難な人の情報を、本人から拒否の意思表示がない限り、町内自治会等に提供する「避難行動要支援者名簿に関する条例」の制定を進めているが、登載対象者の範囲と名簿情報を提供する際の個人情報の適正管理対策は。

**答** 今年9月1日時点で、79か所の避難所運営委員会が設立されている。

設立の進め方は、まず各区役所で、地元の町内自治会と協議して避難所ごとの地区割りを決定する。その後、町内自治会の代表者や学校等の施設管理者、市職員による設立準備会議を開催して、構成員や組織、規約等を定め、これに基づき避難所運営委員会を設立している。構成メンバーは、地元住民のほか、施設管理者、市職員、地域活動団体、ボランティア団体で、災害時には避難者代表を加え、委員長には、町内自治会長などが選出されている。

また名簿登載対象者は、高齢者や障害者等で、避難指示等の情報の取得能力、避難の必要性や避難方法等の判断能力、避難に必要な身体能力に着目して避難能力の有無を判断し、避難支援の必要性を総合的に勘

案し判断した。また、手上げ方式により自ら名簿掲載を求めることがで

きる仕組みも設ける。



九都県市合同防災訓練の様子

個人情報の適正管理については、町内自治会等への情報提供に関する市との協定で、個人情報の漏えい防止策を講じることなどを規定するほか、名簿情報の適正な取り扱いに関するマニュアルを作成し、適正管理に努める。

### 生活困窮者自立促進支援モデル事業は

**問**

モデル事業のこれまでの経緯と今後のスケジュールは。

**答**

モデル事業は本年度から2か年度で実施する。生活保護に至る前の自立支援策強化のため、本年5月に国と事業実施に関する協議を行うとともに、府内において、モデル事業を実施する区や、事業内容と方法を協議してきた。本年12月から中央区と稻毛区で実施し、来年度はさらに花見川区と若葉区で実施する予定である。

## 民主党千葉市議会議員団



### 市債残高に対する評価と今後の見通しは

**問**

平成24年度は退職手当債を3年ぶりに発行するなど、全会計の借換債<sup>\*3</sup>を除く市債発行額は524億5,700万円と前年度と比べ7.8%増加した。次世代への負担軽減や持続可能な財政運営のため、市債残高の低減は大変重要だと考えるが、市債残高に対する評価と今後の見通しは。

**答**

平成24年度末残高は全会計で、前年度末と比べ104億円減の1兆581億円となり、2年連続して100億円超を削減した。これは、財政健全化プランや公債費負担適正化計画を踏まえ、建設事業を厳選し、市債発行を抑制した結果が表れたものと考える。

今後の見通しは、財政健全化プランに掲げる「平成21年度末から平成25年度までに全会計における建設事業債等の残高を800億円以上圧縮する」という目標を達成できる見込みである。また今後4年間で、全会計の市債残高の400億円以上の削減を目指す。

### 介護予防事業の充実を

**問**

介護予防事業の充実は、介護保険給付費の削減と高齢者が元気に生活を

送るために大切な施策と考えるが、本市の現状と今後の方向性は。昨年増設された「あんしんケアセンター<sup>\*4</sup>」の取り組みなども含めて伺う。

**答** 「高齢者が心豊かに暮らせる長寿社会」の実現のために介護予防事業は重要なと考えるが、高齢者の多くは「自分にはまだ必要ない」と感じているなど、参加にあまり積極的ではない。

介護予防事業への参加勧奨については、あんしんケアセンターが要介護状態となるリスクの高い方に対して、訪問等を行うことにより個別に介護予防への意識啓発に努めたことで、参加者数が徐々に増えるなど、効果が表れていているが、参加率は十分とは言えない。

今後はより魅力的な事業とするため、参加者へのアンケートや調査を通じ、ニーズ把握に努めるとともに、あんしんケアセンター管理者会議等で効果的な取り組みを共有するほか、セ

ンターの職員数を見直していく。

介護支援ボランティア事業は、活動に対す



るインセンティブを設定して社会参加・地域貢献の意識を高めることで、元気な高齢者の増加につながるものと考えており、団塊の世代の参加を促すなど、積極的に展開していく。

### 教育相談窓口の周知を

**問**

いじめ、不登校等学校教育に関する諸問題への意識が高まり、相談できる機関が求められているが、どの窓口に相談すればよいかが、わかりにくいという課題がある。各相談窓口の周知方法と窓口をわかりやすくする工夫は。

**答**

周知方法として、小学校入学時には、24時間いつでも相談できる「教育相談ダイヤル24」などの窓口を紹介するホットカードを、中学校入学時には、「新中学生になって」という冊子を配布している。また教育センターや養護教育センターでは、教育相談の案内冊子を配布している。

窓口をわかりやすくする工夫として、教育委員会各課、教育センター及び養護教育センターの各ホームページに、相談項目を明示した共通の相談窓口のリンクページを設置したので、直接所管課が電話対応できるようになり、保護者や市民の利便性が高まる期待している。

# 公明党千葉市議会議員団

市長に聞く

## ジェフユナイテッド千葉の応援組織は

**問** 市内のプロスポーツチームを都市文化として市民生活の中により浸透させるために、さらなる取り組みが必要だと考える。Jリーグ・ジェフユナイテッド千葉への市民の关心や応援気運を高めるためにサポート組織を立ち上げる動きがあるが、どのようなものを検討しているのか。

**答** ホームタウンである本市としても、ジェフ千葉がJリーグの頂点を目指すチームとして活躍し、地域の発展に一層貢献してもらうべく、ジェフ千葉を応援する地元企業、団体などによる後援会的組織の設立準備を進めており、8月に設立に向けた会合を開催した。会の名称は「ジェフユナイテッド千葉紹介会」と決定し、応援観戦やチームとの交流を行うとともに、会員自らジェフ千葉の認知度を高め、地域との絆を深めるための諸活動を行うこととしている。今後は、地元企業や団体に会への参加を呼びかけ、年



ジェフユナイテッド千葉の応援風景

度内に正式に発足する予定である。

## 子ども医療費助成拡充への取り組みは

**問** 子どもの通院医療費助成の拡充を求める市民の声は大きく、市長マニフェスト工程表も公表され、具体的な検討の姿が見えてきたが、助成拡充の方向性と実施時期は。

**答** 助成拡充は、子どもの健康保持の推進、子育て世帯の経済的負担の軽減や本市への転入促進を図る点からも、有効な施策の一つである。対象拡大には多額の財源を安定的に確保する必要があり、市全体の将来的な財政見通しの下で判断すべきだが、まずは平成26年度に小学校6年生まで拡大したい。

## 観光振興への取り組みは

**問** 平成24年度の観光振興への取り組みの総括は。

本市の観光施策は、明確な戦略が定まらない印象があり新計画策定を求めてきたが、当面の集客戦略、外国人観光客の誘致推進も踏まえた現状及び今後の取り組みについて、東京オリンピック・パラリンピック開催決定を踏まえて伺う。

**答** 平成24年度に、集客観光課を新設し、観光資源の開発・活用から情報発信までを一貫して実施する体制とした。主な成果として、幕張海浜公園に会場を移した市民花火大会では、長い海岸線を活かした企画が話題を呼び、市内外から30万人を集客した。

また、各種雑誌へのPR記事広告の掲載やツイッターでの情報発信など、ターゲットを明確にしたプロモーションが実施できた。

観光振興にかかる現在の計画については、策定当時と比べ、東京オリンピック・パラリンピック開催決定をはじめ、本市を取り巻く環境や社会情勢などが大きく変化し、新たな観光資源も発掘されてきており、次期計画策定に向けた対応が必要だと考える。

当面の集客戦略としては、千葉駅西口地区の再開発や千葉港の旅客船桟橋の整備などを集客の核とし、既存の観光資源と組み合わせて市内回遊観光ルートの商品化を目指したい。

また、地域資源の利活用、隠れた魅力の掘り起こしやPRをグローバルな視点で行う。さらにMICE開催地としての特色を確立したい。

外国人観光客の誘致としては、東京オリンピック・パラリンピック会場予定地や空港にも近い立地を生かしながら、外国人観光客の嗜好に合わせた「おもてなし」の体制を戦略的に整えることが重要と考える。

# 日本共産党千葉市議会議員団

市長に聞く

## 消費税大増税の中止を

**問** 5%から8%への引き上げは、国民にとって約8兆円の負担増となる。国および千葉市の財政再建逆行することを認識しているか。

8割近くの国民世論は来年4月の引き上げ中止であり、市民多数の声を代表して、4月の増税中止を政府に求めるべきでは。

**答** 消費税率の引き上げは家計消費が落ち込むなど、経済成長のマイナス要因となりうるもので、税収入にも影響を及ぼす可能性があると認識しているが、現在、政府は増税について慎重に検討しており、判断を注視したい。

わが国の現状と将来を踏まえると、将来にわたり安心できる社会保障制度を維持するための最小限の負担増はやむを得ないと考える。

## ブラック企業への対応は

**問** 「ブラック企業」に対する認識は。また、市独自にも「ブラック企業」で働く若者や青年などの相談窓口を設けてはどうか。「ブラック企業」と疑われる企業に対して雇用の安定・拡大を要請すべきと考える。

**答** 労働法に抵触するような労働を意図的・恣意的に強いたり、極端な長時間労

働などで、若い世代を中心に、働く人の「使い捨て」が疑われる企業が、大きな社会問題となっている。就職活動中の若者が、情報の少ない中小企業に警戒心を高める傾向にあるともいわれており、本市の優良な中小企業の産業人材確保に影響を及ぼしかねないと懸念している。

市独自の相談窓口については、蘇我勤労市民プラザに労働相談室を開設し、雇用や労働条件などの相談に対応している。また、稻毛区役所内のふるさとハローワークでは、職業紹介だけでなく、就労・生活相談を行っている。過重労働などにより、若者をはじめ、労働者の健康が脅かされたり、退職に追い込まれたりすることのないよう、労働基準監督署などの関係機関と連携しながら対応していく。

## 敬老会について

**問** 敬老会助成金の削減と対象者の年齢引き上げは、事業の目的を薄め、主催する自治会や町内会などの負担を増やしている。助成金の設定も3段階のため、人数割をすると不公平との意見があるが、助成金は高齢者一人あたりで計算し、支給するべきではないのか。

「敬老会の実施方法の変更」により「記念品のお渡しは当日参加した本人のみになり、

高齢者を落胆させている」ことや、「敬老会補助金の25%を社会福祉協議会地区部会等の実施団体が負担するため、従来同様の規模での運営では地区部会等の財政がひっ迫し、継続開催は極めて困難」などの切実な意見が寄せられている。敬老会の実施促進を目的とするなら、しっかりと意見を聴取し、くらしに目を向けた政策を行うことを求めるが。

**答** 今回の見直しは、敬老会の開催が世代間交流や地域コミュニティの活性化、さらに高齢者の外出促進につながることから、実施団体の経費負担を軽減する方法に改めることで、より多くの地域で敬老会が開催されることを期待して行った。

敬老会の見直しにあたっては、町内自治会や社会福祉協議会地区部会をはじめ、昨年度開催した団体などに対し説明会を開催し、ご意見等を伺いながら進めてきたので、引き続き、見直しの趣旨を理解いただけるよう努める。



敬老会の様子

## 用語解説

### ※1 実質公債費比率

1年間の収入に対するその年に払った借金返済額の割合

### ※2 将来負担比率

1年間の収入に対する将来市が負担する借金の割合

### ※3 借換債

償還日を迎えた地方債を借り換えるために発行する地方債

### ※4 あんしんケアセンター

地域包括支援センターのこと。地域で暮らす高齢者の介護・福祉に関する相談業務や、介護予防サービスのプラン作成などを行う窓口である。

# 未来創造ちば

## 東京オリンピック・パラリンピックでの役割は

**問** 世界中から多くの人が訪れる絶好の機会であり、隣接都市として積極的な行動を求める。今回の開催決定をどう受け止め、どのような役割を果たそうと考えるか。

**答** これを契機に、次世代を担う地元のアスリートを育成し応援とともに、スポーツの祭典がもたらす感動を共有する文化を市民の皆様とともに育てたい。

また、マニフェストに掲げたとおり、車椅子スポーツなどの支援や、障害者スポーツ指導の研究会や指導員の養成を積極的に進め、日本一「障害者スポーツが活発な街」にしていきたい。

競技会場や成田空港に近いという立地条件から、キャンプ地として市内施設を活用してもらうなど、可能な限り協力していきたい。



2020年東京オリンピック・パラリンピック開催決定に  
日本中が歓喜!!隣接都市千葉の役割にも大きな期待!

さらに観光や宿泊など、本市に波及する経済効果も取り込む必要があると考える。こうした対応を総合的かつ的確に進めるため、庁内の体制づくりも検討していく。

## 地域医療支援病院承認の進捗状況は

**問** 昨年2月策定の「新千葉市立病院改革プラン」で、両市立病院が地域の医療機関との連携を強化するとされ、特に海浜病院では医療機器等の共同利用や研修等を通じて「かかりつけ医」の支援を目的とする地域医療支援病院の承認を目指すとされたが、承認状況は。

**答** 両市立病院では地域の診療所との連携のため、昨年度地域連携室の体制を強化し、両病院ともに地域医療支援病院の承認要件である紹介率及び逆紹介率が上昇した。

海浜病院は、地域の身近な「かかりつけ医」へ診療情報提供を行った結果、基準を満たし、本年8月に地域医療支援病院として承認された。青葉病院は、昨年度の紹介率等の実績で、承認要件を一部満たすことができなかつたが、現在は著しく改善しており、引き続き承認を目指す。今後とも、市民と地域の医療機関に必要とされる病院づくりを進めていく。

## ちばチャリ・すいすいプラン (自転車走行環境整備計画)は

**問** 概ね30年後の姿を見据え、約330kmの自転車ネットワークの構築を目指すマスタープランが示されたが、想定する自転車利用は、区ごとの目標は。優先的に整備する路線は。

**答** 平坦な地形を生かし海辺から内陸部へアクセスできる環境をつくり、市内の回遊性を高めるネットワークづくりを進める。ネットワーク路線は、3つに分類しており、市域間・市内各区を連絡する「広域ネットワーク路線」は長距離利用を、鉄道駅などの生活機能拠点にアクセスする「拠点ネットワーク路線」は通勤通学等の利用を、これらを補完する「地域ネットワーク路線」は日常の買物等の利用を想定している。

区ごとの目標として、中央区と稲毛区は駅周辺への利便性の向上を、花見川区は花見川サイクリングコースへのアクセス性の向上を、若葉区と緑区は千葉都心や緑豊かな自然に親しめる地域へのアクセス性の向上を、美浜区は潮風を感じながら公共施設等を巡る回遊性の向上を目指す。

優先的に整備する路線は、大規模公園や生活機能拠点へのアクセス性の向上、走行環境整備の実現性等を考慮し選定している。

## 市民ネットワーク

### 職員の人事異動について の考え方

**問** 専門的知識の習得や市民との信頼関係の観点から異動周期が早いと感じるが、人事異動の基本的な考え方や指針は。

**答** 職員の育成・活用や組織の活性化を図る観点から、一般職員は通常3年から4年を目安に異動を実施。若手職員は、必要な能力を身につけ自身の適性を見出すため、市民応対や内部事務など、異なる業務を2つ以上経験するよう「ジョブローテーション指針」で人事異動の原則を定めている。管理職は、退職等によるポスト補充の必要性などから、一般職員に比べて異動の年数が短く、1年で異動となる場合もあるが、市民との信頼関係や業務の継続性が保たれるよう配慮していく。

### あんしんケアセンター 増設の評価と課題は

**問** センター増設の評価と、高齢化の進展に伴う困難事例の增加などの課題は。

**答** センターは担当する圏域の縮小により、きめ細やかに活動でき、身近で専門的な相談窓口として機能している。地域でのネットワーク構築が進む一方、センター間でノウハウの蓄積の違いによる差が生じており、良い取り組みの共有化などに努めている。

課題については、センターと区の福祉関係部署が連携して速やかに対応することが重要であり、地域ケア会議等を通じて行政や地域の関係者と情報を共有するなどしている。さらに、両者が緊密に連携して困難事例に対応できるよう、合同事例検討会などを開催している。

## みんなの党千葉市議団

### 学習支援で「貧困の連鎖」 の防止を

**問** 「貧困の連鎖」の防止のためには教育が欠かせなく、生活保護受給世帯の児童生徒への学習支援は、非常に重要であると考えるが。学習支援事業の実施状況と成果は。

**答** 6区で、週2回、各2時間、学習教室を開催しており、計492回実施し、延べ4,372人が参加した。

平成24年度の生活保護世帯の中学校卒業者は153人、うち高校進学率は85.6%であった。このうち、学習支援事業参加者は87人、高校進学率94.3%であり、学習支援事業参加者の進学率の方が8.7ポイント高いという結果となっている。

### 認可保育園への補助金交付 手続きのチェック体制は

**問** 補助金の過大請求などの不正は許されず、認可保育園に対する補助金についても、適正な執行を担保すべきである。チェック体制を含めた、補助金の交付手続きは。

**答** 年度当初に各園からの申請を受け、内容を審査した上で交付決定を行い、概算額を分割して交付するとともに、年度末に各園から提出された実績報告書に基づき交付額を確定し、精算している。

交付額の確定にあたり、保育園職員の出勤簿等勤務状況がわかる資料を併せて提出させ、過大請求等の誤りがないか、複数の市職員で入念にチェックしている。

## 日本維新の会千葉市議団

### 動物公園の再生計画への 取り組みは

**問** 動物は市民の財産であり、その管理、飼育手法については、絶え間ない努力と研究の下、日々適切かつ適正に行う必要がある。現在、動物公園の再生計画を作成中とのことだが、今後どう取り組むのか。

**答** 再生計画の「リスタートプラン」にて盛り込む。今年度下期から、園内関係者で動物のストレス等を改善するためのミーティングを定期的に行い、常に新たな改善や職員間の情報交換を行うとともに、他の動物園とも緊密に連携しながら、よい飼育環境整備を計画的に進める。

### 小中一貫教育の推進は

**問** いじめ、体罰など学校教育のさまざまな課題克服のための試みとして、小中一貫教育が注目されているが、全国における小中一貫教育の推進状況と本市の動向は。

**答** 平成22年の文部科学省の調査では、小中学校合同の委員会等の設置や、研究指定事業の実施など何らかの取り組みを行っているのは1,276市町村で、全国の72.4%である。このうち、小中学校を一体的に運用するための組織を設けているのは47市町村で、全国の2.7%である。

本市は、6・3制を維持する中で、小中連携教育を推進している。今後は、「9年間を見通した学びの連続性」を意識した取り組みに努める。

## 平成25年第3回定例会 可決した主な議案

※各会派の  
賛否状況は8面

### 平成25年度一般会計予算に 3億1,832万円を追加

- 補正予算の主なものは次のとおりです。
- 生活困窮者自立促進支援モデル事業……………4,457万円
  - 障害者グループホーム等へのスプリンクラー設置費補助事業……………1,415万円
  - 待機児童解消加速化プランの推進……………1億6,434万円
  - 住宅用省エネルギー設備等設置助成事業……………1,730万円

### 国民健康保険条例の一部改正

保険料率の算定根拠を明確に定めるため、保険料率の決定方式を改めます。  
(平成26年4月1日～)

	条例に定める保険料率の決定方式
改正前	保険料率そのものを定めます。
改正後	保険料率の算出方法を定めます。 ※毎年、改定後の条例の規定に基づいて、医療費等の歳出に対して保険料で補うべき金額に見合った料率に改定します。

### 印鑑条例の一部改正

本人が来所し、官公署発行の免許証等で本人確認ができるれば、印鑑登録証（カード）を持参し忘れても、印鑑登録証明書の交付が受けられるようになりました。

### ユース・ホステル設置管理条例を廃止

宿泊者のニーズの変化、利用者の減少等の理由により、ユース・ホステル（昭和の森内）を廃止します。（平成26年4月1日）

閉館後の施設の管理運営については、民間事業者の活用を検討しているところです。

### 保育所設置管理条例の一部改正

老朽化した寒川保育所は、現在の敷地で、民設民営方式で建替えを行い、新園舎完成後は民間に移管されます。  
(平成27年4月1日)

## 市政のここが聞きたい ～一般質問～



24人の議員が、市政に関する一般質問を行いました。主な質問項目は次のとおりです。内容は市議会ホームページの議会中継（録画放映）をご覧ください。

[http://gikaimovie.city.chiba.jp/rokuga\\_menu.html](http://gikaimovie.city.chiba.jp/rokuga_menu.html)

#### 幕張新都心における 新たな交通システムについて

(橋本 登 無所属)

#### 千葉都市モノレールについて

(森山 和博 公明党)

#### いじめ問題について

(中村 公江 共産党)

#### 学校の普通教室への エアコン設置について

(安喰 武夫 共産党)

#### 両市立病院について

(三瓶 輝枝 民主党)

#### 動物公園について

(小松崎 文嘉 自民党)

#### 稲毛区の道路の安全確保について

(阿部 智 日本維新)

#### 英語教育について

(川村 博章 自民党)

#### 誉田駅前広場の進捗状況について

(三須 和夫 自民党)

#### 障がいのある子どもへの 支援について

(亀井 琢磨 未来創造)

#### 歴史・文化を生かした まちづくりについて

(小川 智之 自民党)

#### 災害対策について

(佐々木 友樹 共産党)

#### 海辺の活性化について

(米持 克彦 自民党)

#### 高洲・高浜・磯辺地区の 学校跡施設利用について

(松坂 吉則 自民党)

#### 健康管理と医療費の抑制について

(村尾 伊佐夫 公明党)

#### コミュニティサイクルについて

(湯浅 美和子 市民ネット)

#### 出会いサポート事業について

(山浦 衛 民主党)

#### 千葉都市モノレールについて

(野本 信正 共産党)

#### 救急医療の迅速化について

(小田 求 未来創造)

#### 高齢者福祉について

(三ツ井 美和香 民主党)

#### マイナンバー制度について

(麻生 紀雄 民主党)

#### 本庁・区役所内の食堂について

(川合 隆史 民主党)

#### 経済活性化について

(山本 直史 未来創造)

#### 領土に関する教育について

(櫻井 崇 みんな)

( ) 内は氏名と会派名 ※通告順

## 常任委員会審査から

決算議案以外の補正予算案、条例案、その他議案は、所管の常任委員会で、細部にわたり審査しました。主な質疑を紹介します。

### 総務委員会(議案1件)

#### 安心こども基金の活用で 子育て支援の強化を

問 安心こども基金の活用状況は。

答 平成25年度当初予算の3億400万円と、今回の補正予算の2億3,500万円で、合わせて5億3,900万円を、保育所整備、待機児童解消取りプロジェクト、保育士研修事業などに活用する予定である。

### 教育未来委員会(議案3件)

#### 待機児童解消加速化プランへ の対応は

問 国の待機児童解消加速化プランに基づいて3つの事業が今回補正予算に計上されたが、その概要は。

答 国が待機児童解消のために、安心こども基金を活用し、地方自治体に対して支援するもので、速やかに着手すべき「認可外保育施設の運営支援」、「保育士等処遇改善」、「潜在保育士の再就職支援研修」の3事業について補助を受け実施したい。

### 保健消防委員会(議案5件)

#### 生活困窮者自立促進 支援モデル事業は

問 平成25年12月から中央区と稲毛区で生活困窮者自立促進支援モデル事業を実施することだが、支援対象は。

答 モデル事業は、生活保護の相談に来たが申請に至らなかった人を対象として、自立相談支援、就労準備支援、家計相談支援などを実行する。

原則として金銭給付を行わない事業であることから、基本的には働く層への就労支援となる。

### 都市建設委員会(議案4件)

#### 浄化センターの維持管理は

問 浄化センター等の包括的維持管理委託について、委託契約期間を3年間から5年に延長した理由は。

答 受託事業者による省エネルギー機器や設備の設置などの新たな投資が可能となり、これまで以上にコスト縮減や効率化が見込まれること、また受託事業者の従業員育成にも力を注ぐことができるようになることなど、良好な維持管理が期待できることを勘案し、期間を延長した。

### 環境経済委員会(議案5件)

#### 住宅用省エネルギーシステム 設置費助成制度のPRを

問 家庭用燃料電池システム(エネファーム)など、新たに5つのシステムを助成対象とするとのことだが、助成制度のPRが非常に大事である。具体的にどのようにPRしていくのか。

答 PRとして、市政だより等でお知らせするとともに、11月に開催される九都県市首脳会議の再生可能エネルギーフォーラムで、事業者を対象に助成制度の説明をするなど、制度を広く周知する機会を持っていきたい。

#### ◆助成対象のシステム

助成対象システム	助成件数	助成基準額
家庭用燃料電池システム(エネファーム)	120件	100,000円
定置用リチウムイオン蓄電システム	10件	100,000円
エネルギー管理システム(HEMS)	120件	10,000円
電気自動車充電設備	50件	50,000円
地中熱ヒートポンプシステム	3件	助成対象経費の1/10 (上限200,000円) ただし、1,000円未満は切り捨てとする。

# 決算審査特別委員会

委員長 茂手木 直忠  
副委員長 福永 洋

平成24年度一般会計および特別会計決算議案など19件を審査するため、9月19日に全議員で構成する決算審査特別委員会を設置し、計6日間にわたり審査しました。

今回から、これまでの2分科会に代わり、5分科会に分かれての審査方法が導入され、分野ごとに専門的な審査ができるようになりました。

## 分科会での質疑を一部ご紹介します。

### 総務分科会

#### 自主財源確保に向けて

**問** 自主財源の確保に向けての方策は。

**答** 自主財源の確保のためには、市税等の徴収率の向上、受益者負担の適正化、税源の涵養<sup>かんよう</sup>が重要であると考えている。特に税源の涵養は一番大きなテーマと考えており、企業誘致や子育て施策などを呼び込む施策に取り組み、税収を上げていくことが重要だと考える。

\*税源の涵養…市税収入の源泉となる人口や企業数、所得、資産価値などの増加・向上を図り、将来の税収増加につなげること

#### 資産経営システムの構築状況は

**問** 資産データベースの整備などの資産経営システム構築の進捗状況は。

**答** 平成24年度には施設の所在地・規模・構造・利用者数・維持管理コストなどの情報を一元化した資産データベースの整備を完了するとともに、資産

の総合評価の評価基準を決定した。平成25年度から具体的な施設の総合評価に着手したほか、施設の計画的保全については、平成26年度予算編成以降、段階的な取組みを進めていく。

#### 災害情報共有システムの周知を

**問** 緊急時に情報を迅速に伝達するための同システムの運用について、どのように市民に周知していくのか。

**答** 同システムを活用し、市の防災ポータルサイトを作成したので、市政だよりや避難所運営委員会等で説明し、周知に努めたい。

#### 超高齢社会に向けて有権者への配慮を

**問** 超高齢社会の到来で、投票の意思があっても投票に行けない有権者が増えると考えるが、投票所の増設についての見解は。

**答** 自治会等の要望を受け、有権者数、小中学校の通学区域等を含めた地域の実情、投票所として使用できる施設の有無および財政負担などを総合的に勘案した上で、各区の選挙管理委員会で増設の必要性を検討していきたい。

### 保健消防分科会

#### 生活保護受給者数の増加への対応は

**問** 24年度の生活保護の取り組みについての課題をどう認識するか。

**答** 被保護者の増加に伴い、自立支援に取り組んでいる。就労支援では、職に定着させること、学習支援では、長期的な視野で貧困の連鎖を断つこと、医療費の適正化についてはジェネリック医薬品を普及させることなどが課題と認識する。また、生活困窮者対策との一体的な実施も大きな課題である。

#### 救急出動件数の増加に対応を

**問** 救急の課題と今後の取り組みは。

**答** 救急出動件数が増加し、現地到着時間の遅延、医療機関への引き渡しの遅延が課題と認識している。傷病者動画像転送装置やタブレット端末での総合救急支援システムの使用など、ICTを活用し、傷病者を迅速に医師に引き継ぐ体制を構築したい。



#### 看護師の確保対策を

**問** 看護師確保への取り組みは。

**答** 病院局に人材確保対策室を設置し、看護師の確保に努めている。具体的には、看護師養成施設の訪問、看護職員の就職のための病院合同説明会への参加、フェイスブックの活用、人材紹介業者の活用、両市立病院における夏季インターンシップの実施などを行った。

### 環境経済分科会

#### スポーツイベントの誘致を

**問** トップスポーツの全国大会や試合などの誘致に対する考えは。

**答** スポーツイベントの誘致は経済波及効果や都市イメージの向上に重要であると考えるが、まず今ある千葉ロッテマリーンズやジェフ千葉などを定着させることが大事であり、そのあとで大きな大会の誘致が可能であれば、開催を支援したい。

#### 市民出資の活用で再生可能エネルギー導入の促進を

**問** 市民からの出資で、公共施設などへの再生可能エネルギーの設備を導入することについての検討状況は。

**答** 千葉市再生可能エネルギー導入専門委員会でも、市民出資により、市民に積極的に導入に参加してもらうことを検討することとしている。今後、先進市の事例を研究していきたい。

#### 企業立地の方向性の戦略的な検討を

**問** 本市の将来の活性化に向け、例えば健康産業に焦点を絞って産業基盤を作るなど、今後の企業立地の方向性を戦略的に検討する必要があると考えるが、見解は。

**答** 企業立地促進補助制度の対象業種を平成24年度に大幅に拡大し、成長分野を含め、多様な分野の企業を誘致しているところである。今後、まちづくり全体の視点や経済情勢などを踏まえながら、現制度により集積した企業の状況や課題などを十分に検証し、本市の産業特性に合った誘致活動や制度の整備を行っていきたい。

### 教育未来分科会

#### 幼稚園児の保護者の経済的負担軽減は

**問** 私立幼稚園の就園奨励費補助などの助成拡大により、幼稚園児の保護者の経済的負担軽減を図るべきだと考えるが、見解は。

**答** 平成27年4月施行予定の子ども・子育て支援新制度において、幼稚園・保育所等に対する財政措置のあり方等が見直され、新たな給付制度が創設されることになっている。現時点では、国の動向を注視し、適切に対応していきたい。

#### 学校施設の老朽化への対応は

**問** 学校施設は、今後一斉に老朽化が進むことになるが、学校施設の中長期的な改築・改修計画は。

**答** 良好的な教育環境を恒常に維持・保全していくため、平成24年3月に保全改修の基本計画となる学校施設保全計画を策定した。計画の基本的な考えは、施設の耐用年数や資産価値の低下につながる経年劣化の防止、施設の基本機能の停止につながる劣化の防止、また常に時代に適合した施設機能を保持するための機能改善や機能向上のために改造を行うこととしている。

### 都市建設分科会

#### 中心市街地の活性化を

**問** 中心市街地活性化のための施策はどうするか。

**答** 都市部と経済部が連携し、商店街の方と話し合いを進め、個性ある商店街づくりについて一緒に考えていきたい。また、その際に中心市街地活性化事業補助金も有効に使っていきたい。



#### 道路施設等の老朽化対策は

**問** 道路施設等の老朽化対策への取り組み状況は。

**答** トンネル、道路標識、道路照明灯等、壊れて物が落下した場合に、交通に大きく障害が及ぶものなどから、順次点検を開始している。

特に道路照明灯は、数が多いことから、まず国・県道を、次に市道の順に点検を実施していく。点検の際、落下の危険性があるなどの不具合が発見された場合には緊急対応することとしているが、今のところ大きな不具合は発見されていない。今後とも道路施設等の点検は着実に進めていきたい。

# 市長に提出した指摘要望事項

5つの分科会審査の結果まとめられた14項目の指摘要望事項を、10月3日に議長から市長に提出し、市政運営に反映させるとともに、反映状況の報告を求めました。

**1 財政については、** 財政指標が示すとおり厳しい財政状況にあることから、税源の涵養や自主財源の確保を図るとともに、公会計制度による財務諸表を有効活用した財政運営により、財政健全化に努められたい。

**2 資産経営については、** 中長期的な視点によるマネジメントに努め、資産の質と量の最適化に取り組まれたい。  
また、地域コミュニティの拠点となる施設の活用方針の検討にあたっては、市民サービスの低下を招かぬよう意を用いられたい。

**3 防災対策については、** 市民の防災意識と自主防災組織の組織率の向上を図るとともに、避難所運営委員会については、災害時に効果的に活動できる体制を構築されたい。  
また、災害情報共有システムの効果的な活用と市民への周知を図られたい。

**4 文化・スポーツ振興については、** 都市イメージの向上や活性化にも寄与することから、市民にとって魅力的な文化事業の創出・拡充を図るとともに、スポーツイベントの誘致や障害者スポーツの充実、さらにはトップスポーツとの連携等に戦略的に取り組まれたい。

**5 生活保護については、** 高齢化の進展や厳しい雇用環境を背景とした受給者の増加が見込まれることから、ケースワーカーの負担軽減に向けた体制整備に取り組むとともに、被保護者の自立推進を図るため、就労促進支援事業のさらなる拡充に努められたい。  
また、貧困の連鎖の防止を目指し、生活保護世帯学習支援事業への参加者の拡大に取り組まれたい。

**6 私立幼稚園については、** 幼児教育において欠かすことのできない機関であるが、保育所に比較して公費負担の少ない状況がみられることから、就園奨励費補助などの助成の拡充により、保護者負担の軽減を図るとともに、園児の教育環境の向上に意を用いられたい。

**7 再生可能エネルギー導入の推進については、** 市域における利用率を高めるため、既存住宅への普及啓発に努めるとともに、公共施設等への設備導入にあたっては、市民からの出資を活用するなどの先進事例の動向にも注視しつつ積極的な施策展開を図られたい。

**8 企業立地の促進については、** 将来を見据えた雇用の創出や税源の涵養を図るため、健康・医療・科学等の成長産業に向けた企業立地の方向性を検討し、地域経済の発展や都市イメージの確立に向けた効果的な企業誘致に意を用いられたい。

**9 交通政策については、** 千葉駅西口再開発ビル「ウェストリオ」のオープンや千葉駅の建てかえを見据え、中心市街地のさらなる活性化を図る必要があることから、関係部局や民間事業者等と連携し、市街地における新たなバス路線の検討を含め、回遊性を一層高める施策などに取り組み、都市力の向上に努められたい。  
また、交通不便地域への対応については、引き続き利便性の向上に向けて、適切な支援を講じられたい。

**10 道路・橋梁の維持管理については、** 今後、既存ストックの老朽化がますます進行することから、本市財政が厳しい中にあっても、修繕や耐震化及び長寿化対策等の予防保全型の取り組みを着実に推進するとともに、点検及び維持管理に携わる職員の育成・確保に努めた上で、各土木事務所のより一層の機能充実を図られたい。

**11 救急体制整備については、** 救急出動件数が増加傾向にあることを踏まえ、救急救命士の養成や救命講習の拡充に取り組むとともに、医療機関との連携強化による搬送時間の短縮に努め、救命率の向上を図られたい。  
また、救急車の適正利用を推進するため、市民への一層の普及啓発に努められたい。

**12 兩市立病院については、** 地域医療への貢献や質の高い医療の提供など、自治体病院としての役割を果たすため、医師や看護師を含めた医療スタッフの確保・定着に努めるとともに、良好な労働環境の維持や研究・研修体制の充実にも意を用いられたい。

**13 学校校舎等の教育施設については、** 人口急増期に建設した多くの建物が同時期に老朽化を迎えるため、施設の改修などによる教育環境の向上や防災拠点としての安全性の確保に取り組むとともに、中長期的な視点に立った計画に基づき、整備をされたい。

**14 選挙管理事務については、** 超高齢社会の到来を踏まえ、有権者の利便性を高めるとともに、民間商業施設における期日前投票の拡充などにより投票率の向上に努められたい。

## 意見表明



10月2日の決算審査特別委員会では、5分科会の審査概要について報告が行われた後、8人の委員が会派を代表して意見表明を行い、採決の結果、各会計決算を原案どおり可決・認定しました。各会派の意見表明の概要は次のとおりです。(通告順に掲載)

### 未来創造ちば

#### 財政健全化プランに基づく取り組みの推進を評価

自主財源の確保や事務事業の見直しなど財政健全化プランに基づく取り組みを推進した結果、将来負担比率、実質公債費比率改善などが認められ、高齢者・障害者福祉、子育て支援、教育、都市基盤整備や安全安心のまちづくりなどの施策は市民福祉の一層の向上に資するものと認められます。引き続き、財政健全化への取り組みを推進し、将来の千葉市の発展のための施策には十分配慮願います。

### 日本共産党千葉市議会議員団

#### 住民の福祉を削り、大型開発を推進した決算に反対

2012年度決算は、実質収支が黒字になりましたが、住民の福祉を削り、一方で大型開発を推進しており、住民福祉の向上が基本であるべき地方自治の本旨に反しています。敬老会補助金の削減などに対する不満の声に市長が耳を傾けないこと、職員給与等のカットを行い地域経済にも大幅な影響を与えていたこと、さらに消費増税による生活悪化を受け止めないことから認定できません。

### 日本維新の会千葉市議団

#### 財政健全化に向けてわずかながら薄日が感じられる決算であると評価

国民健康保険料徴収率の2.3ポイントの改善、市債残高の104億円の削減、将来負担比率の7.4ポイント改善などを評価します。主な施策面では、高齢者施策での「あんしんケアセンター」の増設や、子育て支援施策での待機児童数の削減を高く評価します。

市民サービスが特定の団体や世代に偏在することなく、市民の自立を側面から支え尊厳を保つ施策に、引き続き取り組まれるよう要望します。

### 民主党千葉市議会議員団

#### 財政運営をはじめ各種施策を評価 市民サービスの低下を抑えることを要望

平成24年度一般会計決算は、財政健全化への着実な取り組みが結果に表れたものであり、施策面では、防災対策、病院事業、廃棄物対策、教育施策での取り組みを評価します。

今後も将来負担の軽減とともに、慢性的に収支不足が見込まれる財政構造を改善する財政健全化と資産経営を推進していただきながら、必要分野には予算配分し市民サービスの低下を抑えることを要望します。

### 公明党千葉市議会議員団

#### 活力ある千葉市を築くため、なお一層の努力を

極めて厳しい決算だと捉えていますが、財政健全化に向けての取り組みは着実に進んでいるものと評価します。また、各施策についても、市民福祉向上への取り組みをはじめ、的確な施策展開がなされており評価するところです。

今後も厳しい財政状況が続くことを踏まえ財政健全化とともに、市民福祉の向上と活力ある千葉市を築くために、なお一層の努力を求めます。

### 市民ネットワーク

#### 実質収支確保のための財政運営ではあるが、健全化の観点からどうか審査し認定

市債管理基金への償還が予定通り行えず、また退職手当債の発行などで実質収支を確保した決算ですが、財政再建の柱の一つである借金残高の推移は、人口1人あたりに換算すると利子を含め128万円で、5年前の19年度決算の144万円からは、堅実な減少傾向にあります。

個々の施策も現在の社会情勢を反映させた対応がされており評価できると判断しました。市民の声に真摯に対応し市民協働を意識した市政運営を進められるよう求めます。

### みんなの党千葉市議団

#### 財政健全化プランへの取り組みを評価

財政健全化への取り組みの結果、予算編成時に見込まれていた112億円の収支不足が解消できた点、また市債残高を縮減し、健全化判断比率が改善した点を評価します。

しかし、依然として市債管理基金からの借入残高が多額であり、財政健全化比率も政令市ワーストの水準であることから、より一層の聖域なき財政改革、行政改革に取り組まれるようお願いします。

### 自由民主党千葉市議会議員団

#### 将来負担の低減に向けた取り組みを評価

財政指標は、市債残高の削減など、実質公債費比率と将来負担比率が減少するなど、将来負担の低減に向けた取り組みが認められます。

施策については、子育て施策をはじめとする各種施策を着実に推進しており評価します。今後も経済の活性化に取り組んで、税収の確保を図るとともに、財政健全化の取り組みを積極的に進めるよう要望します。

## 議案の議決結果・会派別賛否状況



	議案名	会派名	議決結果	賛否 ○：賛成 ×：反対 △：賛成・棄権混合								
				自民党	民主党	公明党	共産党	未来創造	市民ネット	日本維新	みんな	無所属
補正予算案	平成25年度一般会計補正予算（第2号）		原案可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○
条例案	平成25年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）／平成25年度介護保険事業特別会計補正予算（第1号）／平成25年度下水道事業会計補正予算（第1号）		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
その他議案	国民健康保険条例の一部改正／ユース・ホステル設置管理条例の廃止／保育所設置管理条例の一部改正		原案可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○
議員提出議案	市民活動支援センター設置管理条例の制定／印鑑条例の一部改正／市営住宅条例の一部改正		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
決算（関連）議案	工事請負契約（市立磯辺中学校大規模改造工事）／工事請負契約（市営住宅宮野木町第1団地第二期建替事業建築主体工事）／指定管理者の指定（千葉アイススケート場）／市道路線の認定		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	副市長の選任		原案同意	○	○	○	×	○	○	○	○	○
	教育委員会委員の任命		原案同意	○	○	○	○	○	○	△	×	○
	人事委員会委員の選任／人権擁護委員の推薦		原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	被保護者等住居・生活サービス提供事業の業務の適正化等に関する条例制定検討委員会設置条例の制定		原案否決	×	×	×	○	×	○	×	×	×
	魅力ある花見川の整備促進を求める意見書		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	地方税財源の充実確保に関する意見書		原案可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○
	平成24年度下水道事業会計未処分利益剰余金の処分		原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成24年度歳入歳出決算（一般会計／国民健康保険事業特別会計／介護保険事業特別会計／市街地再開発事業特別会計／公債管理特別会計／水道事業会計）		原案認定	○	○	○	×	○	○	○	○	○
	平成24年度歳入歳出決算（後期高齢者医療事業特別会計／母子寡婦福祉資金貸付事業特別会計／靈園事業特別会計／農業集落排水事業特別会計／競輪事業特別会計／中央卸売市場事業特別会計／都市計画土地区画整理事業特別会計／動物公園事業特別会計／公共用地取得事業特別会計／学校給食センター事業特別会計／病院事業会計／下水道事業会計）		原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○

### 可決した意見書



議員提出議案として2件の意見書を審議し、可決しました。  
可決した意見書は、国会および関係行政機関に提出しました。  
ホームページに全文を掲載しています。

<http://www.city.chiba.jp/shigikai/kekka-menu.html>

●魅力ある花見川の整備促進を求める意見書 ●地方税財源の充実確保に関する意見書



「議会をもっと身近に」ということで、意外と知らない市議会の豆知識をお伝えするコーナーです。第2回目は、「二元代表制」を紹介します。

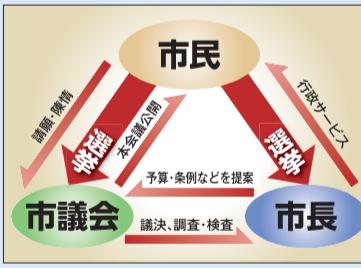
### ～二元代表制とは？～

地方自治体では、首長と議会議員とともに住民が直接選挙で選ぶ制度をとっています。これを二元代表制と言います。

市議会が、市政の方針を決定したり、市政が適正に行われているかチェックしたりする一方で、市長をはじめとする執行機関は市議会の決定に基づいて実際に仕事を行います。

市議会と市長は、まったく対等の立場で、互いに尊重し、論議し、あいながら明るく住みよい千葉市をつくるために努力しています。

皆さんは市長と市議会の役割の違いはわかりますか？



### 市議会を傍聴してみませんか

本会議、常任委員会、特別委員会は原則公開していますので、どなたでも傍聴できます。議会棟は市役所本庁舎の隣（国道側）です。受付は、原則として会議開催の30分前から議会棟1階の傍聴受付カウンターで行います。定員は本会議92人（先着順）、委員会6~10人（受付開始時点で定員を超える場合は抽選）です。

次回、第4回定例会は11月27日(水)に開会予定です。なお、会議日程は11月22日(金)に決まる予定です。



お詫び ちば市議会だよりNo.81記事内容の誤りについて

9月1日発行の「ちば市議会だよりNo.81」におきまして、記載内容に誤りがありました。お詫び申し上げますとともに、以下とおり訂正いたします。

[訂正箇所] 2面「永年勤続議員表彰」

[訂正内容] (誤)在職15年以上一般表彰→(正)在職10年以上一般表彰

### 市議会ホームページをご覧ください

市議会ホームページでは、会議日程や会議結果、議員名簿などを掲載しているほか、議会中継（生中継・録画放映）を行っています

千葉市議会

検索

<http://www.city.chiba.jp/shigikai/top.html>

### ツイッターで市議会の情報をお届けします

定例会・委員会の開催日程から、市議会からのお知らせ、議会のしくみまで、市議会のさまざまな情報をお届けしています。

どうぞご利用ください。

(QRコードはこち)



目の不自由な方に、市議会の活動をお知らせするため、「ちば市議会だより」の点字版と録音版（テープ）を作成していますので、ご希望の方はご連絡ください。



## 宇留間議長

## 突撃インタビュー!!



96万市民の市議会議長ともなると、一般市民から遠く離れた存在に思われがちですが、市民の皆さんに、もう少し人間臭い議長を知っていただきたいと思い、インタビューさせていただきました。

問 ・・・ということで、議長、よろしくお願ひいたします。

答 おー、いいねえ。私も前から言っているが、開かれた議会を目指しているんですよ。こうやって、どんどん議長室に来ていただきたいよね。私は自民党だけど、議長として中立でなければならないから、孤独だよ。（なんと、いつも明るく悠々自適にみえる宇留間議長から「孤独」という言葉がでるのは意外！）

問 議長になると、今までとは違うのですね。

答 そうだよ！まず健康に気をつけなくっちゃね。（議会中は、夜のお酒は控える！早く寝る！のだそうです。）議長席に座って、議事を進行させるのは緊張するよ。喉も渴くけど水を飲むのも控えないといけないしね。

問 さて、千葉市議会でも議会改革が進んでいますが、どんなお考えをお持ちですか。

答 前小川議長が始めてくれた改革の方向を引き継いで行くけど、改革っていうのは、いつもやっていかなくちゃいけないんだ。それを議員の皆さんにも応援してもらいたいよね。会派の中にもいろんな意見はあると思うけど、そういうことを言い合うことも大事だよね。

問 市民の皆さんにも応援していただきたいですね。そのためには、議会改革で何をやっているのか、それをしっかり知りたくとも大切ですよね。

答 そなんなんだよ。だから、この議長室にもいろんな方に来ていただきたいんだ。



宇留間議長と突撃隊（山本議員、麻生議員、湯浅議員、佐々木（友）議員）

首長と議会という二元代表制が意識される中、議会の政策立案と執行機関の監視という役割の中で、議会としての権能をどのように活かしていくか、54人の議員で構成される千葉市議会全体としての方向性を見出す作業は、なかなか骨の折れる仕事だと思いますが、宇留間議長、健康新に留意して、がんばって下さい。私たち議員も応援しています！

### 編集後記



市議会だよりを最後まで読んでいただき、ありがとうございます。今年度の市議会だよりは、私たち議員が編集を行い、議会活動を直接発信

し、市民の皆さんにしっかりと伝わるよう努めています。今後も更にわかりやすい広報活動誌として刷新して参ります。また、ホームページの充実などICT化にも積極的に取組み、いつでもどこでも議会を身近に感じていただけるよう、日本一の議会広報を目指していきます。

広報委員会 突撃隊 麻生紀雄

### 千葉市議会広報委員会

委員長：米持 克彦／副委員長：山本 直史  
委 員：向後 保雄／麻生 紀雄／森山 和博  
佐々木 友樹／湯浅 美和子／阿部 智／岡田 慎

### 問い合わせ先

議会事務局調査課 ☎ 043(245)5472